

テーマ①:しごとづくり・まちづくり

～三木の特性である『金物』、『山田錦』、『ゴルフ』を 核とした施策の推進～

三木ならではのモノ(地域資源)は、『金物』、『山田錦』、『ゴルフ』。
三木創生を進めるため、他市に誇る三木ならではのこれら核となるモノに特化し、
付加価値を高めることで、地域の稼ぐ力の向上を図りたいと考えます。

(1)現状

三木市の特徴(ブランド)を活かした施策の推進

- 高度な鍛造技術に支えられた「播州三木打刃物」・・国の「伝統的工芸品」
- 酒米山田錦の産地 ・・品質出荷量ともに日本一
- ゴルフ場 25箇所 ・・箇所数は西日本一

～創生交付金を活用した事業例～ (※)平成29年度第1回検証委員会資料参照

【地方創生加速化交付金】

・地場産業の振興事業

(金物振興) ■三木金物のブランドづくり

■海外への市場開拓支援 など

(山田錦振興) ■日本酒ブームによる山田錦の需要増加にあわせた生産奨励

■生産組織の法人化による経営基盤の強化 など

【地方創生推進交付金】

・ゴルフを核としたまちの活性化

「ゴルフのまち三木」を広くPRするとともに、ゴルフ産業を振興し、まちの活性化につなげる。

■ゴルフトーナメント開催によるゴルフ振興

■スタンプラリーを活用したゴルフ場の利用促進及び地域活性化

■ゴルフ体験やゴルフ教室開催によるジュニア育成 など

(2)課題

①金物:5品目【鋸(のこ)、鑿(のみ)、鉋(かんな)、鋸(こて)、小刀】が大工道具であり、建築手法等の変化への対応。(新たな市場の開拓など)

伝統工芸品としての技術の継承。

②山田錦:農業従事者の高齢化や後継者不足。日本一の出荷量の維持。

③ゴルフ:ゴルフ人口の減少、ゴルフ産業の振興。

⇒従来から、多様な取組を進めてきているが、効果が十分には表れていない。
核となる資源をどのように活かし、展開していくかが課題。

(3) 論点

【金物】

- ・金物を地場産業とする他地域との差別化をどのように図っていくか。
- ・建築手法など時代が変化していく中で、販売先(ターゲット)をどのように決めていくべきか。

【山田錦】

- ・酒米の村米制度などによる安定した供給先が確保されているものの、高齢化が進む現状において、後継者不足にどのように対応を図るべきか。
(若者の就農促進をどのように進めていくか。新たな農業のありかたとは。)

【ゴルフ】

- ・ゴルフ人口の減少が進む中で、三木市を訪れるゴルフ人口をいかに増やしていくか。